

Tabula rasa

(図書館学生新聞) 第5号

ごあいさつ

日本文学科 2年 西山友梨

こんにちは。皆さんは夏休み、いかがお過ごしでしたか？長い休みなので、旅行をしたり、バイトに勤しんだり、一人暮らしの人は実家へ戻ったりしたのかもしれないね。

暑い夏が終わり、過ごしやすい季節となりました。「秋」は「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と言いますが、この秋は「読書の秋」にしませんか？



さて、今回の特集は「**中原中也**」です。山口県出身の中原中也は今年、生誕100周年を迎えました。昨年、図書館では「中原中也賞◆受賞詩集展」を行いました。今年は私たち、図書館サポーターが学生という視点で、中原中也の魅力をみなさんにお伝えできればと考えています。『Tabula rasa』で特集を組むと同時に、図書館でも展示をしていますので、ぜひ図書館に足を運んでください。

梅光学院大学図書館学生新聞

『Tabula rasa』 第5号

発行日：2007年 10月10日

編集・発行：梅光学院大学図書館サポーター

図書館長 松尾文子



生誕100周年記念☆ 中原中也記念館突撃レポート！

このちょっとした旅に参加したのは、図書館サポーター長&副長コンビです！今回は、対談形式でお送りしたいと思います。

バ「そんなわけで始まりました～wワタクシ、へっぽこ**図書館サポーター長ババロア**（仮名。以下 バ）です。」

影「こんにちは。**図書館サポーター副長の影の支配者**（仮名。以下 影）です。さあ、行ってきました！中原中也記念館。山口県育ちの私ですが、山口の印象は？」

バ「**足湯最高！**」

影「足湯ですか!?私も生まれてはじめてに入ったよ。中也記念館には初めて行ったけど、あんなところにあるとは…って思った。」

バ「中也の家跡地に、記念館作ったんだっけ？」

影「そうです。お父さんが軍医で、転勤が多かったみたいだよ。」

バ「きれいだったよね！記念館！」

影「そうやね。で、早速だけど中也の出会いは？」

バ「小学校の時…教科書で読んだのが最初かな？影様は？」

影「私も小学生かな？うろ覚えですね…はっきり覚えているのは高校生の時に、宿題で新聞の切り抜きをして、それに関するものを調べるってものがあった！中也の詩集が外国語で発売される記事があったので、中也の詩について少し調べた。」

バ「お！素晴らしいね！ちなみにどの詩が好きなの？私は『**汚れつちまつた悲しみに……**』だな」

影「中也の詩を全部、知っているわけではないけど…私は『**サーカス**』かな。
ゆやーん ゆよーん がね」

バ「私もアレは好きだな！中也といえば**オノマトペ**だよね！」

影「オノマトペ。他には、『湖上』の ぼっかり ひたひた とか『一つのメルヘン』の さらさら とか」

バ「うんうん、どれも素敵wさて、記念館では、かなり中也について勉強したね！ということで、このへんで言っときましょう！**中原中也ってどんな人？コーナー☆** 私達の質問に答えてくださったのは、記念館の学芸員さん、那須さんで一す！」

影「わ～！パチパチ（拍手）那須さんは梅光の卒業生なんですよ～！無知な私達のために時間を割いてくださり…お世話になりました！」

中原中也ってどんな人？

回答：中原中也記念館 学芸員 那須香さん

青字は図書館サポーターが特に印象に残った言葉

Q1：中也の魅力とは何ですか？

彼の人生にあこがれる人が多いですね。中也は性格が、**天使のように純粋な面とすごく悪魔的な強烈さ**を持った人なんですよ。

Q2：中也の詩の特徴は？

オノマトペが特徴的です。『サーカス』の「ゆやーん ゆよーん」とか。あとは、**リフレインが多いのも特徴的**。それで、歌が生まれて、リズムになります。**読むだけではなく、声に出すもの**だと考えられていますね。

Q3：「ダダイズム」とは何ですか？

今までの概念を否定した、芸術運動のことです。『一つのメルヘン』で「日はさらさら」というような表現です。「ダダイズム」は文学だけではなく、**美術分野でも発達**していきました。

Q4：「1924ノート」とは？

京都時代に中也が書いたものです。『一つのメルヘン』が書いてあったりします。

Q5：中也とフランス文学の関係は？

「ランボー」の本を愛読していました。ランボーの詩を訳して、本も出しています。

Q6：「泰子」とは？

中也の恋人でした。すごく美人で、女優志望の女性でした。**とても個性的な人**で、中也は「根がある人」と称していました。記念館のビデオ放映室で、生前の泰子の映像が見ることができますよ。

Q7：中也と宮沢賢治のつながりは何ですか？

賢治の『**春と修羅**』を中也が発見して、中也はそれを読みふけていました。それで、中也は賢治に共感を持ちました。

Q8：愛息の死後～没までの中也は？

中也の長男・文也が2歳で亡くなった後、有名な『**冬の長門峡**』を書きました。**よりいっそう詩**を書いています。その後、体調を崩し山口に戻ろうとしましたが、帰ることはできませんでした。

Q9：最後に、那須さんのオススメの詩は？

『**春宵感懐**』です。他にも、良い詩がたくさんあるので好きな詩を見つけてください。

興味をもたれたら、ぜひ中原中也記念館に足をお運びください！



加藤先生と中也

中也を研究している、日本文学科・加藤邦彦先生にインタビューをしました。中也の魅力に迫ります！

—— 中也との出会いはいつですか？

中学2、3年のときに。ザ・ブルーハーツというバンドのギタリストが、**中也の顔写真がプリントされたTシャツ**を着ていたのが、きっかけで中也のことを知りました。

最初は中也の詩が良くわからなかったんだけど、読み進めていくうちに好きになっていったね。そのころ一番好きだったのは『**寒い夜の自我像**』という詩です。

—— 中也ってカッコいいですね！

あの“つぶらな”瞳に惹かれる女性も多いね。実はあの写真は、**何種類かパターンがあるんだよ**。大岡昇平の『中原中也と写真』に書いてあるよ。



—— 特徴的な中也のオノマトペの中で気に入っているものは？

『サーカス』で、**不安定な動き**を表しているところが！『湖上』が好きって人も多いよ。

—— 先生の中也に関する大きな体験は？

大学院生のころに中也全集の制作に関わったこと。全集作りは、貴重な資料も見ることができるし、すごく勉強になった。編集室にこもりっきりで、パソコンの前に座りっきりで……大変でした。でも、**今の僕があるのはそのおかげです**。

ありがとうございました
図書館サポーター 一同

オススメ本

『イリヤの空 UFOの夏』 (電撃文庫)

秋山瑞人 著 メディアワークス 2001年

「六月七日は全世界的に UFOの日」新聞部部长・水前寺邦博の発言から、浅羽直之の UFOの夏は始まった。当然のように夏休みは UFOが出るという裏山での張り込みに消費された。夏休み最後の夜、浅羽はせめてもの思い出に学校のプールに忍び込んだ。驚いたことにプールには先客がいて、手に金属を埋め込んだその奇妙な少女は「伊里野可奈」と名乗った……。

UFOの目撃談が後を絶たない園原市で繰り広げられる、時に可笑しく、時に切ない SF 青春ストーリー!!

(日文 1年 吉松絵理沙)



『ハ長調のポートレート』

(角川文庫)

赤川次郎 著 角川書店 1994年

とある夫婦に誕生した可愛い女の子。赤ちゃんが加わっただけで毎日がハラハラ、ドキドキ、ウキウキの連続!!きっと自分達の両親もこんな気持ちだったのかなど、胸が温かくなる一冊です。

(日文 1年 橋口安奈)

『家守綺譚』 (新潮文庫)

梨木香歩 著 新潮社 2006年

庭・池・電燈付二階屋。汽車駅・銭湯近接。四季折々、草・花・鳥・獣・仔竜・小鬼・河童・人魚・竹精・桜鬼・聖母・亡友等等出没数多…。

本書は、ほんの百年前を舞台にした小説である。主人公は新米精神労働者(駆け出しの作家)、綿貫征四郎。亡くなった友人、高堂の実家に「家守」として住んでからの出来事が一人称で綴られている。その出来事というのは冒頭に記してあるような日常である。

この文だけ読むとホラー小説と思われるやもしれぬが、決して怖いものではない。むしろ、とても温かい物語だ。唯、一風変わった日常だというそれだけの話である。そんな日常に巻き込まれているのに、主人公のあまりの落ち着きぶりがくすりと可笑しい。そして、読者をも、その独特の口調とペースに引き込んでいく。一話一話が約5～6ページと短く、非常に読みやすい。普段読書をしないという方も一度読んでみては如何だろうか？

(日文 1年 山田春香)



『地中海の猫』

岩合光昭 著 新潮社 2005年

ネコが好きな人、人間社会に疲れている人たちにおススメします。

マイペース＝可愛く生きる猫達の姿はきっとあなた達をリフレッシュさせてくれます。

また、どこか懐かしさを感じる作品です。

(日文 3年 中村怜)



『オーケストラ楽器別人間学』

茂木大輔 著 草思社 1996年

オーケストラ（略してオケ）の楽器と聞いて、あなたは何を思い浮かべますか？ヴァイオリン？トランペット？

楽器の音色や演奏方法、合奏での役割などで人間の性格に影響を及ぼす…らしい。「有名人による架空オーケストラ」が面白い！！気になった方は一度手にとってみてください。

（日文 2年 西山友梨）

芸術の秋



『秋のいろどり』

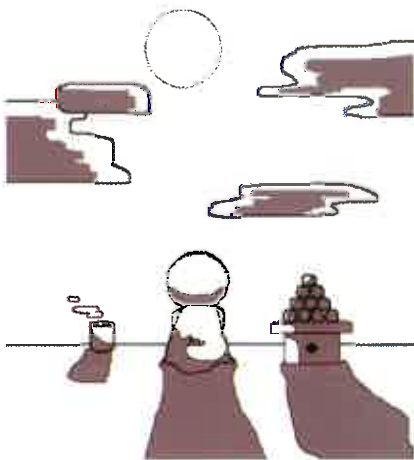
いわさきちひろ 著

いわさきちひろ絵本美術館 編

講談社 1997年

私は「芸術＝絵画」というイメージを持っています。図書館にはいわさきちひろさんの画集があるのですよ！！お気に入りの絵を見つけてみてはいかがでしょうか？

（日文 2年 西山友梨）



高橋歩トークライブin梅光 ～私が歩む青春時代～

『LOVE&FREE』『人生の地図』『Adventure Life』などの人気著書をもつ**高橋歩**さん。20代前半で仲間とお店を立ち上げ成功し、結婚後すべての肩書きを捨て世界一周の旅へ。その旅の軌跡を綴った『LOVE&FREE』が出版され、**高橋**さんの写真や言葉、生き方が多くの若者に支持されました。

その**高橋歩**さんが今回、梅光学院大学祭に登場！

青春について大いに語っていただきます！

また、特別ゲストとして第2回梅音祭にもやってきたBivattcheeのボーカル**堤晋一**さんが出演！！ぜひお見逃しなく！

2007年11月3日 Sat. 祝 OPEN16:00 START16:30

会場 梅光学院大学スターヂェスホール チケット：700円

[チケット購入方法]

大学祭実行委員会専用アドレス (one4all_BLF@baiko.ac.jp) に、件名に「高橋歩講演会チケット予約」と記入し、氏名・連絡先(アドレス・電話番号)を送信してください。確認メールを送信後、当日講演会会場でチケットをお渡しします。また、講演会会場で当日券も発売しております。

* **高橋歩**さんの本の紹介コーナーを図書館に設けています。是非、ご覧ください。

☆図書館サポーターがHPに登場☆

梅光学院大学HPの図書館の所に図書館サポーターの項目ができました。図書館サポーターの活動の様子がご覧になれます。また学内HPの図書館サポーターの項目では、ユニークなマスコットが貴方をお待ちしています。是非ご覧ください。

☆図書館サポーター募集中☆

毎月第2・第4水曜日・東館302にて活動しています。
興味がある人は是非！！

編集後記：夏休み前発行予定だった本誌ですが、秋合併号となり、今回も編集作業に追われました。少しでも多くの方に、本誌を手にとってもらえるよう、これからも頑張りたいと思います。